

愛知県立にしお特別支援学校



外観

愛知県初となる知的障がいと肢体不自由、両方の児童生徒が通う新しいタイプの特別支援学校として開校。小学部・中学部・高等部(普通科)を設置し、西尾市内に初めて設置された県立の特別支援学校でもある。



昇降口

校内へのエントランスとなる昇降口には、木製の下駄箱やベンチ、天井のルーバーなど、木の温もりが感じられる。



ふれあいホール

校舎の中央に位置し、児童生徒たちの交流の場として設置された『ふれあいホール』。らせん状のスロープが特徴的な、「つながり」と「広がり」を大切に「学びの場」を体現する明るい吹き抜けの空間となっている。



知的障がいエリア
トイレ入口

手前から、女子トイレ、男子トイレ、バリアフリートイレの順で並んでいる。校内の壁には、抹茶で有名な西尾市にちなんで、頭の上にお茶の葉をのせている学校公式のマスコットキャラクターが描かれている。



知的障がいエリア
洗面コーナー



明るい印象の洗面コーナーには、手すりや呼出ボタンを設置。また、トイレ利用時には、衛生面の配慮から汚れを持ち出さないよう、スリッパに履き替えるようになっている。



知的障がいエリア
小便器コーナー

小便器は間口が広めのタイプで、床面の清掃がしやすい壁掛型を採用。非常時に備え、壁面には呼出ボタンも完備されている。



知的障がいエリア
大便器ブース

使用方法を学ぶという観点から、大便器はあえて洗浄方式の違う2タイプ(手動タイプとセンサータイプ)を用意している。



知的障がいエリア
バリアフリートイレ

車いすや介助を伴う場合に利用するバリアフリートイレ。また、粗相した場合に備え、幼児用シャワーパン、汚物流し、洗濯機を設置している。



知的障がいエリア
低学年用
小便器コーナー

小柄な児童に配慮し、幼児用小便器を設置。壁掛け式でアプローチや床面の清掃がしやすくなっている。



知的障がいエリア
低学年用 大便器ブース

小柄な児童に配慮し、幼児用大便器を設置。使用方法を学ぶという観点から、大便器はあえて洗浄方式の違う2タイプ(手動タイプとセンサータイプ)を用意している。



肢体不自由エリア
トイレ入口

肢体不自由エリアでは、車いすを置くスペースにも配慮し、トイレ前の廊下を広く確保している(廊下幅:約4,300mm)。学校キャラクターが、明るい空間に楽しい雰囲気を出している。



肢体不自由エリア
女子トイレ

大便器のほか、ベッドや手すり、呼出ボタンを設置している。

愛知県立にしお特別支援学校



肢体不自由エリア
女子トイレ

利用者の体格差に配慮して、一般的な大便器よりも座面が低い、低リップ大便器も設置している。



肢体不自由エリア
女子トイレ

脚が開きにくかったり、座位が不安定な利用者が使用する細長い形状のバリアフリー便器。前後に空間があるため、介助者が一緒に座って身体を支えることができる。



肢体不自由エリア
女子トイレ

各大便器ブースは、扉でなくカーテンで区切ることで、空間の自由度が高く、車いすでのアプローチや介助などがしやすくなっている。さらに、洗面コーナーも1ヶ所設置している。



水まわりの特長

建物の特徴

「愛知県立にしお特別支援学校」は、県内初の知的障がいと肢体不自由、両方の障がいに対応した学校として、2022(令和4)年4月西尾市に開校。小学部、中学部、高等部が設置され、あわせて約250名の児童・生徒が通学している。「かがやく笑顔 つながる人の輪 ひろがる可能性」を校訓に、児童・生徒の自立と社会参加への基盤を培う。新しい校舎には来校者や、一般の障がい者の方にも利用しやすい工夫が施されており、特にトイレの検討にあたっては、「TOTOテクニカルセンター名古屋」に設置されている「バリアフリーラボ」において、関係者が空間検証会を実施。空間の大きさや介助のしやすさ、使い勝手などを計画段階で事前に確認し、その結果を実際のプランに反映させている。

トイレの特長

「知的障がいエリア」と「肢体不自由エリア」のトイレそれぞれに、設計ポイントを明確化。知的障がいエリアにおいては、使用方法を学ぶという観点から洗浄方式の違う2タイプの便器(手動タイプとセンサータイプ)を用意。体格差にも配慮し1ヶ所は幼児用の便器を設置した。バリアフリートイレには、粗相した場合にも対応できるシャワーパンや汚物流しなどを完備。肢体不自由エリアでは、車いすでの利用が多いことから、広い空間を確保。各ブースはカーテンで仕切ることで、空間の自由度を高めている。さまざまな身体状況の方に対応できるよう、座面が低い低リップ大便器や細長い形状のバリアフリー便器の設置によりバリエーションを持たせ、さらにおむつ交換に使用される据置き型のベッドも設置した。



肢体不自由エリア
洗濯シャワー室



洗濯シャワー室を、男女トイレの中間にレイアウトし、設置。男女どちらのトイレからもアプローチがしやすく、粗相した際にもスムーズに対応ができる。



肢体不自由エリア
男子トイレ

小便器は、間口(約1,200mm)が広めに確保されているので、介助を伴っての利用や、車いすからのアプローチがしやすくなっている。



肢体不自由エリア
バリアフリートイレ

汚物流しやおむつ交換用のベッドなどを設置したバリアフリートイレ。電動車いすなどでも回転できるスペースを確保している(約3,600mm×約4,000mm)。

建築概要

名称	愛知県立にしお特別支援学校
所在地	愛知県西尾市須脇町高河原86
施主	愛知県
設計	株式会社 安井建築設計事務所
施工	建築 銭高・アイサワ特定建設工事共同企業体 設備 辻村工業株式会社

竣工年月	2022年3月
敷地面積	26,058㎡
建築面積	8,307㎡
延床面積	12,727㎡
構造・階数	鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494系
- 低リップ大便器:C426R
- バリアフリー便器:C111
- ウォームレット:TCF226P
- 紙巻器:YH702
- 壁掛小便器:UFH500
- 車いす対応洗面(居室向け):MVHJ、MVHF
- 洗面器:L546系
- 水栓金具:TLG10301J
- コンパクトオストメイトパック:UAS8系
- 背もたれ:EWC283CR
- 幼児用大便器:CS300B
- 幼児用小便器:U310GY
- 幼児用シャワーパン:PFS1100R
- パブリック用流し:SKL330DNFP



教室内洗面コーナー

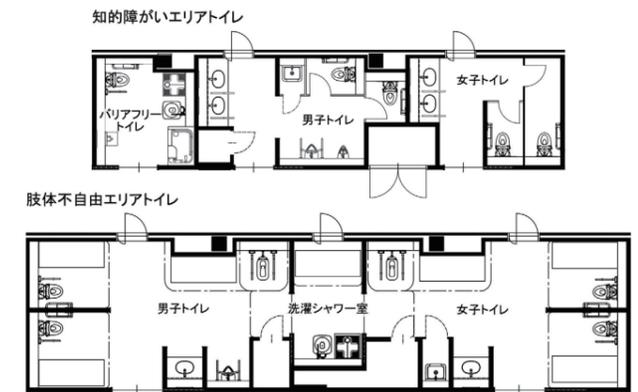


さまざまな身体状況に対応できるよう、足元空間を広く確保した車いす対応洗面を各教室に設置。特に肢体不自由エリアでは、右袖の操作レバーで使いやすい高さに調節できる昇降タイプを採用している。



共用エリア
バリアフリートイレ

体育館横に位置する共用エリアのバリアフリートイレ。さまざまな利用者に配慮し、広い空間が確保されている(約4,000mm×約2,000mm)。また、オストメイトに配慮したコンパクトオストメイトパックも完備。



トイレ図面